

平成29（2017）年度

三 重 大 学 大 学 院
教 育 学 研 究 科（修 士 課 程）
一 般 入 試・外 国 人 留 学 生 特 別 入 試
第 二 次 学 生 募 集 要 項

三 重 大 学

教育学研究科教育科学専攻アドミッションポリシー

- 教育に強い関心を持ち、その専門的研究を進めていくための意欲と素養を有している。
- 将来、教育の分野において専門の職業人を目指している。
- 現場での経験を有する者については、現場での経験を基に、専門的な研究を進める意欲がある。

目 次

《各入試共通事項》

I. 募集人数	1
II. 出願資格	2
III. 長期履修制度について	4
IV. 障害等のある入学志願者との事前相談について	5

《一般入試》

V. 出願手続	7
VI. 選抜の方法	9

《外国人留学生特別入試》

VII. 出願手続	15
VIII. 選抜の方法	16

《各入試共通事項》

IX. 合格発表	19
X. 入学手続	19
XI. その他	19
入学試験情報	20
個人情報の利用について	21
各教育領域についての問い合わせ	21

《各入試共通事項》

平成29（2017）年度

三重大学大学院教育学研究科（修士課程）
学生募集要項

I. 募集人数

専攻	教育領域	分野	募集人数	備考	
教育科学専攻	学校教育領域	学校教育	各教育領域 若干名	※印の分野は募集を行いません。 注1)	
	特別支援教育領域	特別支援教育			
	人文・社会系 教育領域				国語教育学
					国語学
					国文学
					※書道
					社会科教育学
					歴史・思想学
					地域科学
					英語科教育学
					英語学
					英米文学
	理数・生活系 教育領域				数学科教育学
					代数学
					幾何学
					解析学
					応用数理学
					理科教育学
					物理学
					生物
					地
					技術科教育学
	芸術・スポーツ系 教育領域				技術科教育学
					家庭科教育学
					家政学
					音楽科教育学
					音楽学
※作曲・指揮法					
音楽学					
美術科教育学					
美術学					
保健体育科教育学					
保健体育学					
運動学					
学校保健					

・上表で「分野」とは入学後専攻する分野をいう。

注1) 芸術・スポーツ系教育領域の作曲・指揮法分野は作曲のみの募集となり、指揮法の募集は行いません。

II. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

1. 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条第1項に定める大学を卒業した者及び平成29（2017）年3月31日までに卒業見込みの者
2. 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び平成29（2017）年3月31日までに授与される見込みの者
3. 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び平成29（2017）年3月31日までに修了見込みの者
4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成29（2017）年3月31日までに修了見込みの者
5. 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成29（2017）年3月31日までに修了見込みの者
6. 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
7. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成29（2017）年3月31日までに修了見込みの者
8. 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
〔 教育職員免許法による小学校、中学校、高等学校、幼稚園の教諭若しくは特別支援学校教諭の専修免許状又は一種免許状を有する者で平成29（2017）年3月31日までに22歳に達するもの 〕
9. 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの（※3頁参照）
〔 本研究科以外の大学院に飛び入学した者で本研究科において教育を受けるにふさわしい学力があると認められたもの 〕
10. 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成29（2017）年3月31日までに22歳に達するもの（※3頁参照）
11. 上記1から10の出願資格にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する者であって、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認めるもの（※3頁参照）
 - ① 大学に3年以上在学した者及び平成29（2017）年3月まで在学見込みの者
ただし、休学期間は在学期間を含めないものとする。
 - ② 外国において学校教育における15年の課程を修了した者及び平成29（2017）年3月までに修了見込みの者
 - ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者及び平成29（2017）年3月までに修了見込みの者
 - ④ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

(注) 出願資格10については、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者や外国大学日本分校等の修了者などの大学卒業資格を有していない者であっても、本研究科において個人の能力の個別審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めたもののことを示します。

※外国人留学生特別入試で出願できる者は、日本の国籍を有しない者で下記のいずれかに該当するものとする。

- ・独立行政法人日本学生支援機構実施の日本留学試験の日本語科目（記述を除く）を240点以上取得した者及び平成29（2017）年3月31日までに取得見込みの者
- ・公益財団法人日本国際教育支援協会実施の日本語能力試験のN1（1級）を取得した者及び平成29（2017）年3月31日までに取得見込みの者
（成績通知書を紛失した者はあらかじめ連絡してください。）

出願資格9又は10による入学志願者の出願手続等

出願資格9又は10により出願する者は、大学を卒業した者と同等以上の学力を問う資格審査を行いますので、平成28（2016）年12月6日（火）から12月12日（月）までに下記の書類等を持参してください。ただし、土曜日・日曜日は除きます。

資格審査の結果は、出願期間前までに申請者に対し通知します。資格審査に合格した者には出願許可書を発行しますので、出願時に提出してください。

記

- ① 出身大学又は最終学校の成績証明書
- ② 出身大学又は最終学校の卒業（見込）証明書又は卒業証書の写
- ③ 学習歴等調査書
本学所定の用紙に義務教育終了後の学習歴及び研究歴等を古い順に記載してください。
また、裏面には履歴を記入してください。
- ④ その他
公刊された著書、論文、作品、資料等若しくはそのコピー、又は公表された研究発表資料、作品等若しくはそのコピー等があれば提出してください。

なお、出願手続に際して必要な書類等のうち、資格審査で提出した書類については再提出の必要はありません。

出願資格11による入学志願者の出願手続等

出願資格11により出願する者は、本研究科の定める下記の諸条件に関する資格審査を行いますので、平成28（2016）年12月6日（火）から12月12日（月）までに、下記の書類等を持参してください。ただし、土曜日・日曜日は除きます。

資格審査の結果は、出願期間前までに申請者に対し通知します。資格審査に合格した者には出願許可書を発行しますので、出願時に提出してください。

記

1. 出願の条件

- ① 出願時において、大学4年次に履修すべき単位を除き、卒業に必要な単位の80%以上を修

得していること。

- ② その修得単位の90%以上が8点（10点満点）以上若しくはこれに相当するものであること。

2. 提出書類

- ① 所属する大学又は最終学校の成績証明書

- ② 学習歴等調査書

本学所定の用紙に義務教育終了後の学習歴及び研究歴等を古い順に記載してください。

また、裏面には履歴を記入してください。

- ③ その他

所属する学部又は最終学校の「学習要項」等、卒業に必要な科目がわかるもの。

3. その他（大学3年次に在籍している場合）

- ① 選抜試験に合格した者は、最終成績審査を行いますので、合格通知書を受け取り後2週間以内に、3年次末までの成績証明書を提出してください。

- ② 最終成績審査合格の条件は、3年次末までに4年次に履修すべき科目を除き、卒業に必要なすべての単位を修得し、その修得単位の90%以上が8点以上又はAであること。

- ③ 最終成績審査に関する合否は、最終合格発表として3月22日頃に本人に通知します。

- ④ 最終合格者となった場合には、所属する大学に「退学願」を早急に提出してください。

なお、出願手続に際して必要な書類等のうち、資格審査で提出した書類については再提出の必要はありません。

相談、問い合わせ先及び書類の提出先は、下記となります。

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577
三重大学教育学部チーム（学務担当）
TEL 059-231-9319
FAX 059-231-9352
E-mail edu-gakumu@ab.mie-u.ac.jp

Ⅲ. 長期履修制度について

長期履修制度とは、職業を有する等の個人の事情に応じて、柔軟に標準修業年限（2年）を超えて履修し、学位等を取得できるようにする制度で、修業年限は最大で4年間となります。ただし、「職業を有する等の事情による長期履修」は原則として社会人を対象とし、経済的理由等は認めません。

また、授業料は2年間（標準修業年限）に支払うべき授業料総額を、あらかじめ認められた修業年限で除した額をそれぞれの年（学期）に支払うこととなります。

【授業料（予定額）の納入例】 * 授業料総額 1,071,600円

・標準修業年限（2年） $1,071,600 \div 2年 = 535,800円$

1年目 (535,800円)	2年目 (535,800円)
-------------------	-------------------

・長期履修による、3年間の履修学生 $1,071,600 \div 3年 = 357,200円$

1年目 (357,200円)	2年目 (357,200円)	3年目 (357,200円)
-------------------	-------------------	-------------------

・長期履修による、4年間の履修学生 $1,071,600 \div 4年 = 267,900円$

1年目 (267,900円)	2年目 (267,900円)	3年目 (267,900円)	4年目 (267,900円)
-------------------	-------------------	-------------------	-------------------

また、本研究科では教育職員免許状取得のために長期履修制度を利用することができます。

教育に強い関心を持つ学生に対し、学部授業（教育実習・介護等体験を含む）の受講を認め、希望する教育職員免許状（原則として1種類）を取得させることを目的としています。（受け入れ人数

は10名程度とします。)ただし、標準修業年限で入学した学生が、途中で教育職員免許状取得のための長期履修制度利用に変更することはできません。

なお、長期履修制度を希望する者に対して、出願に先立ち出願可否審査を行います。

平成28(2016)年12月6日(火)から12月12日(月)までに下記の必要となる書類等を持参又は郵送してください。持参の場合、受付時間は9時から16時までとし土曜日・日曜日は除きます。郵送の場合は12月12日(月)までに必着とし、「書留・速達」にて郵送してください。ただし、期限後に大学に到着したものについては、12月11日(日)までの消印のある「書留・速達」に限り受理します。審査の結果は、出願期間前までに申請者に対し通知します。審査に合格した者には出願許可証を発行しますので、出願時に提出してください。なお、出願可否審査手続に際して提出していただいた書類等のうち、出願時に必要となる書類等の再提出は必要ありません。

教育職員免許状取得のため長期履修制度を希望する者に対して、12月21日(水)午後に面接を実施する場合があります。面接の際は、面接カード(本学所定の用紙)に必要事項を記入し、持参してください。また、美術の免許取得を希望する学生については、出願可否審査を行うにあたり実技試験を実施する場合があります。

記

○職業を有している等の事情で長期履修を希望する者の提出書類

- ①長期履修申請書(様式第1号)・・・本学所定の用紙を使用してください。
- ②在職が確認できる書類(在職者のみ)
- ③受験承諾書(在職者のみ)・・・本学所定の用紙を使用してください。
- ④その他参考となる事項

○教育職員免許状取得のために長期履修を希望する者の提出書類

- ①長期履修申請書(教育職員免許状取得希望者用)(様式第2号)
・・・本学所定の用紙を使用してください。
- ②成績証明書
- ③その他参考となる事項

提出先および連絡先：〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577 三重大学教育学部チーム(学務担当)
TEL 059-231-9319
FAX 059-231-9352
E-mail edu-gakumu@ab.mie-u.ac.jp

Ⅳ. 障害等のある入学志願者との事前相談について

障害(学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度(次表参照))等のある者に対しては、受験及び就学上特別な配慮が必要となる場合がありますので、出願に先立ち、必ず次により相談してください。

なお、相談の内容によっては、対応に時間を要することもありますので、できるだけ早い時期に相談してください。

また、相談の時期後に本学を志望することとなった場合及び不慮の事故等により障害を有することとなった場合は、その時点で速やかに相談してください。

(学校教育法施行令第22条の3の規定に準拠)

区 分	障 害 の 程 度
視 覚	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視覚機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によって通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴 覚	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
身体機能	① 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの ② 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病 弱 者	① 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの ② 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの
発 達 障 害	自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害のため配慮を必要とするもの

1 相談の方法

配慮を希望する場合は、電話又はFAXなどにより連絡した上で、次の内容を記載した相談書（様式は特に定めません。）を、本学教育学部チーム（学務担当）に郵送などの方法で提出してください。

なお、必要な場合は入学志願者又は出身学校関係者等との面談を行うことがあります。

- (1) 入学志願者の氏名、性別、生年月日、住所、連絡先の電話番号
- (2) 出身大学等名・卒業（見込み）年月日
- (3) 志望教育領域・分野名
- (4) 障害の種類・程度（医師の診断書又は身体障害者手帳等の写しを添付してください。）
- (5) 受験及び就学上希望する具体的配慮
- (6) 出身大学等における生活状況等（主として授業関係）
- (7) その他参考となる事項

2 相談の時期

平成28（2016）年12月12日（月）までとし、土曜日、日曜日、祝日は除きます。

《一般入試》

V. 出願手続

1 出願書類等

入学を希望する者は、次の書類等を整え、下記に提出してください。

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577 三重大学教育学部チーム（学務担当）

書類等の名称	提出該当者	摘要	
1 入学志願票	全員	本学所定の用紙を使用してください。(白色)	
2 研究計画書	全員	本学所定の用紙を使用してください。(白色)	
3 受験票・写真票	全員	本学所定の用紙を使用してください。(白色)	
4 卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書	全員	出身大学長、学部長又は学校長が作成したものを提出してください。	
5 学位授与証明書又は学位授与申請に係る証明書	出願資格2に該当する者	学位授与機構が作成したもの又は在籍する短期大学長又は高等専門学校長が学士の学位の授与を申請中あるいは申請する予定である旨の証明書。	
6 教育職員免許状授与証明書	出願資格8に該当する者	免許状を授与された都道府県教育委員会発行の証明書を提出してください。	
7 成績証明書	全員	出身大学長、学部長又は学校長が作成し、厳封したものを提出してください。	
8 受験承諾書	大学院在学者	本学所定の用紙を使用してください。現に他の大学院に在学中の者は、学長又は研究科長の受験承諾書を提出してください。	
	職業を有する者	本学所定の用紙を使用してください。現に官公庁、学校、会社等に在職している者で、現職のまま入学を希望する者は、所属長の受験承諾書を提出してください。	
9 研究業績概要書	摘要の①②のいずれかに該当する者	① 教育実践小論文による代替措置を希望する者 ② 専攻分野として、音楽科教育、器楽、声楽、作曲・指揮法を選択する附属学校現職教員及び教職等経験者 本学所定の用紙を使用してください。公刊された著書、論文、作品、資料等若しくはそのコピー、又は公表された研究発表資料、作品等若しくはそのコピー等のうちから主要なものを3点以内を、研究業績概要書とともに提出してください。	
10 長期履修出願許可証	長期履修制度出願審査合格者	本研究科長が発行したものを提出してください。	
11 出願許可書	出願資格9,10,11に該当する者	本研究科長が発行したものを提出してください。	
12 返信用封筒	全員	受験票返信用。本学所定の封筒に郵便番号、住所、氏名を明記し、362円分の切手を貼ったものを提出してください。	
13	入学検定料 30,000円 振込手数料は別途必要となります	全員	本学所定の振込用紙に必要事項を記入し、切り離さずに最寄りの金融機関（銀行・信用金庫・農協など）の窓口に入学金検定料を添えて提出してください。(ただし、ゆうちょ銀行では取り扱いできません。また、ATMは使用しないでください。)振込みの後に「振込証明書(大学提出用)」を受け取り、金融機関の受領印が押されていることを確認し、その後、本学所定の「入学検定料納付票」の所定欄に貼って、他の出願書類とともに提出してください。なお、「受取書(本人保存用)」は志願者本人の領収書となりますので、大切に保管してください。
	入学検定料納付票		
14 連絡受信先シール	全員	所定の用紙に合格通知書等の送付先を記入してください。	

(注) 各証明書等と現在の姓が異なる場合は、改姓の事実が確認できる証明書等を添付してください。

2 出願方法

(1) 出願期間

平成29(2017)年1月17日(火)から1月23日(月)まで持参または郵送で出願ください。
持参の場合、受付時間は9時から16時までとし、土曜日、日曜日、祝日は除きます。郵送による場合は1月23日(月)までに必着とし、「書留・速達」にて郵送ください。

ただし、期限後に大学に到着したものについては、1月22日(日)までの消印のある「書留・速達」に限り受理します。

(2) 出願書類提出上の注意事項

- ① 出願書類に虚偽の記入をした者に対しては、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- ② 出願書類に記入もれ等不備がある場合には、受理できませんので注意してください。
- ③ いったん受理した書類は、いかなる理由があっても返還しません。

(3) 入学検定料の返還について

入学検定料を払い込んだ後は、次の場合を除き、いかなる理由があっても払込済の入学検定料は返還しません。

- ① 入学検定料を払い込んだが出願しなかった又は出願書類が受理されなかった場合
- ② 入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合

〈返還請求の方法〉

便せん等を使用し、次のa～eを明記した入学検定料返還請求願を作成し、必ず「入学検定料受取書」(コピー可)を添付して三重大学財務部経理チーム(〒514-8507 津市栗真町屋町1577)へ出願期間締切り後2週間以内に郵送してください。(封筒には「入学検定料返還請求願在中」と朱書きしてください。)

後日、財務部経理チームから返還手続きに必要な書類を郵送します。

なお、返還時期は、入学検定料返還請求願受理後概ね1ヶ月後を予定しています。

〈入学検定料返還請求願〉

- a. 返還請求の理由
- b. 氏名(フリガナ)
- c. 現住所
- d. 連絡先の電話番号
- e. その他

VI. 選抜の方法

入学者の選抜は、学力検査、研究計画書及び成績証明書等の結果を総合して行い、「一般」、「附属学校現職教員」、「教職等経験者」に分けて行います。

附属学校現職教員とは、三重大学教育学部附属学校に勤務する現職教員です。教職等経験者とは、入学年度の4月1日時点で教育関係諸機関に在職していた経験が3年以上あるものを示します。「附属学校現職教員」および「教職等経験者」以外の者を「一般」とします。

◎学力検査

- 1 学力検査日 平成29（2017）年2月16日（木）
- 2 学力検査会場 三重大学教育学部
- 3 学力検査時間割

※口述試験については1人ずつ行います。

(1) 一般

月 日 時間	専攻・ 教育 領域	教 育 科 学 専 攻					
		学校教育領域	特別支援 教育領域	人文・社会系 教育領域	理数・生活系 教育領域	芸術・スポーツ系教育領域	
						注1)	注2)
平 成 29 年 2 月 16 日 (木)	10:00						
	10:30						
	11:00	専門科目 10:00～12:00	専門科目 10:00～12:00	専門科目 10:00～12:00	専門科目 10:00～12:00	専門科目 (教科教育科目) 10:00～11:00	専門科目 10:00～12:00
	11:30					外国語科目 11:10～12:10	
	12:00						
	12:30						
	13:00						
	13:30	外国語科目 13:00～14:20	外国語科目 13:00～14:20	外国語科目 13:00～14:20	外国語科目 13:00～14:20		外国語科目 13:00～14:20
	14:00						
	14:30					専門科目 (選択科目) 口述試験 13:00～	
	15:00						
	15:30						
16:00	口述試験 15:00～	口述試験 15:00～	口述試験 15:00～	口述試験 15:00～		口述試験 15:00～	
16:30							
17:00							

注1) 専攻分野として、音楽科教育、器楽、声楽、作曲・指揮法、美術科教育、美術を選択した者のみ

注2) 専攻分野として、保健体育科教育、体育・スポーツ学、運動学、学校保健を選択した者のみ

(2) 附属学校現職教員

月 日	専攻・ 教育 領域	教 育 科 学 専 攻				
		学校教育領域	特別支援 教育領域	人文・社会系 教育領域	理数・生活系 教育領域	芸術・スポーツ系 教育領域
平成 29年 2月 16日 (木)	時間					
	13:00					
	14:00	外国語科目 13:00～14:20		注3) 外国語科目 13:00～14:20		
	15:00					
	16:00	口述試験 15:00～	口述試験 15:00～	口述試験 15:00～	口述試験 15:00～	口述試験 15:00～
	17:00					

注3) 専攻分野として、英語科教育、英語学、英米文学を選択した者のみ

(3) 教職等経験者

月 日	専攻・ 教育 領域	教 育 科 学 専 攻					
		学校教育領域	特別支援 教育領域	人文・社会系 教育領域	理数・生活系 教育領域	芸術・スポーツ系教育領域	
注5)	注6)						
平成 29年 2月 16日 (木)	時間						
	10:00						
	10:30						
	11:00	専門科目 10:00～12:00	専門科目 10:00～12:00	専門科目 10:00～12:00	専門科目 10:00～12:00	専門科目 (教科教育科目) 10:00～11:00	専門科目 10:00～12:00
	11:30						
	12:00						
	12:30						
	13:00						
	13:30	外国語科目 13:00～14:20		注4) 外国語科目 13:00～14:20			
	14:00						
	14:30						
	15:00					専門科目 (選択科目) 口述試験 13:00～	
15:30							
16:00	口述試験 15:00～	口述試験 15:00～	口述試験 15:00～	口述試験 15:00～		口述試験 15:00～	
16:30							
17:00							

注4) 専攻分野として、英語科教育、英語学、英米文学を選択した者のみ

注5) 専攻分野として、音楽科教育、器楽、声楽、作曲・指揮法、美術科教育、美術を選択した者のみ

注6) 専攻分野として、保健体育科教育、体育・スポーツ学、運動学、学校保健を選択した者のみ

4 学力検査科目

(1) 一般

- ① 教科教育科目（学校教育領域，特別支援教育領域は除く）
- ② 選択科目（1科目選択）
- ③ 外国語科目（英語）
- ④ 口述試験

【試験科目】

教育領域	専 門 科 目	
	教科教育科目	選択科目（1科目選択）
学 校 教 育 領 域		教育学，教育心理学，幼児教育
特 別 支 援 教 育 領 域		特別支援教育
人 文 ・ 社 会 系 教 育 領 域	国語科教育 I	国語学，国文学
	社会科教育 I (理論・歴史・内容・方法)	歴史学，地理学，法律学，政治学，経済学， 哲学・倫理学
	英語科教育	英語学，英米文学
理 数 ・ 生 活 系 教 育 領 域	算数・数学科教育 I	代数学，幾何学，解析学，応用数学
	理科教育	物理学，化学，生物学，地学
	技術科教育	機械工学，電気工学，情報工学
	家庭科教育	食物学，被服学
芸 術 ・ ス ポ ー ツ 系 教 育 領 域	音楽科教育 I（小論文）	音楽科教育 II，器楽（ピアノ），声楽，作曲
	美術科教育 I	絵画，彫刻，デザイン，美術理論・美術史， 美術科教育 II
	保健体育科教育	体育・スポーツ学，運動学，学校保健

（注意事項）（ア）選択科目は，研究計画書に基づき，入学後主として研究しようとする専攻分野の科目を選択してください。

（イ）教科教育科目については，選択科目に関連した教科教育の試験を行います。

（ウ）外国語科目の試験には，辞書（電子辞書は不可）の持ち込みを認めます。ただし，専攻分野として，英語科教育，英語学，英米文学を選択する者は，辞書の持ち込みを認めません。

（エ）学校教育領域については，自分の研究するテーマに応じて，教育学，教育心理学，幼児教育のいずれかの科目を選択してください。

（オ）専攻分野として，音楽科教育，器楽，声楽，作曲・指揮法を選択する者は，志望分野により受験科目が以下のように異なります。

・音楽科教育……筆記試験

・器 楽……10分程度の任意の器楽曲（ピアノ）とし，演奏曲目を入学志願票に記入してください。出願後の曲目変更はできません。

・声 楽……10分程度の任意の声楽曲とし，演奏曲目を入学志願票に記入してください。出願後の曲目変更はできません。

※伴奏を必要とする場合は，各自伴奏者を同伴してください。

・作 曲……1 これまでに作曲した作品1曲の楽譜を出願時に提出してください。

2 12小節程度の旋律をソプラノ・リコーダーあるいはアルト・リコーダーとピアノの二重奏に編曲してください。課題実施に当たってのピアノ使用は認めません。

（カ）専攻分野として，美術科教育・美術を選択する者は，自作の作品，又は写真（本人自作であることの証明書つき），関連する論文があればそれを資料として持参してください。

（キ）専攻分野として，技術科教育，技術学を選択する者は，専門科目については電卓の使用を認めます。

(2) 附属学校現職教員

① 外国語科目（英語）

ただし、学校教育領域および専攻分野として、英語科教育、英語学、英米文学を選択する者のみ。また、学校教育領域を受験する者は教育実践小論文に代替することができます。

② 口述試験

(注意事項) (ア) 選択科目、教科教育科目試験はありません。

(イ) 外国語科目の試験には、辞書（電子辞書は不可）の持ち込みを認めます。ただし、専攻分野として、英語科教育、英語学、英米文学を選択する者は、辞書の持ち込みを認めません。

(ウ) 学校教育領域を受験する者は、教育実践小論文の代替措置があります。希望者は、入学志願票・受験票にその旨記入し、研究業績概要書及び著書類を提出してください。

外国語科目（英語）について、学校教育領域で教育実践小論文に代替を希望する者は、教育学、教育心理学、幼児教育の中から選択になります。入学後に主として研究しようとする内容に関する小論文を選択してください。

(エ) 専攻分野として、器楽、声楽を選択するものは演奏録音を提出、作曲・指揮法を選択するものは自作の作品を提出してください。

(オ) 専攻分野として、美術科教育、美術を選択する者は、自作の作品、又は写真（本人自作であることの証明書つき）、関連する論文があればそれを資料として持参してください。

また、「教育実践の成果の概要と実践研究の課題」というテーマでA4用紙1枚（1,500字程度）の文章を出願書類に添付してください。

(3) 教職等経験者

① 教科教育科目（学校教育領域，特別支援教育領域は除く）

② 選択科目（1科目選択）

専攻分野として，英語科教育，英語学，英米文学，保健体育科教育，体育・スポーツ学，運動学，学校保健を選択した者は教育実践小論文に代替することができます。

③ 外国語科目（英語）

ただし，学校教育領域および専攻分野として，英語科教育，英語学，英米文学を選択する者のみ。また，学校教育領域を受験する者は教育実践小論文に代替することができます。

④ 口述試験

【試験科目】

教育領域	専 門 科 目		外国語科目 (1科目選択)
	教科教育科目	選択科目（1科目選択）	
学校教育領域		教育学，教育心理学，幼児教育	英語，教育実践小論文 (注意事項(エ)参照)
特別支援教育領域		特別支援教育	
人文・社会系 教育領域	国語科教育Ⅰ	国語学，国文学，国語科教育Ⅱ	
	社会科教育Ⅰ (理論・歴史・内容・方法)	歴史学，地理学，法律学，政治学，経済学，哲学・倫理学，社会科教育Ⅱ(教材・授業実践)	
	英語科教育	英語学，英米文学，教育実践小論文(注意事項(エ)参照)	英語
理数・生活系 教育領域	算数・数学科教育Ⅰ	代数学，幾何学，解析学，応用数学，算数・数学科教育Ⅱ	
	理科教育	物理学，化学，生物学，地学	
	技術科教育	機械工学，電気工学，情報工学	
	家庭科教育	食物学，被服学	
芸術・スポーツ系 教育領域	音楽科教育Ⅰ(小論文)	音楽科教育Ⅱ，器楽(ピアノ)，声楽，作曲	
	美術科教育Ⅰ	絵画，彫刻，デザイン，美術理論・美術史，美術科教育Ⅱ	
	保健体育科教育	体育・スポーツ学，運動学，学校保健，教育実践小論文(注意事項(エ)参照)	

(注意事項) (ア) 選択科目は，研究計画書に基づき，入学後主として研究しようとする専攻分野の科目を選択してください。

(イ) 教科教育科目については，選択科目に関連した教科教育の試験を行います。

(ウ) 外国語科目の試験には，辞書(電子辞書は不可)の持ち込みを認めます。ただし，専攻分野として，英語科教育，英語学，英米文学を選択する者は，辞書の持ち込みを認めません。

(エ) 教育実践小論文の代替措置の希望者は，入学志願票・受験票にその旨記入し，研究業績概要書及び著書類を提出してください。

・選択科目について，専攻分野として，英語科教育，英語学，英米文学，保健体育科教育，体育・スポーツ学，運動学，学校保健を選択する者は，教育実践小論文への代替措置があります。

・外国語科目(英語)について，学校教育領域で教育実践小論文に代替を希望する者は，教育学，教育心理学，幼児教育の中から選択になります。入学後に主として研究しようとする内容に関する小論文を選択してください。

(オ) 学校教育領域については，自分の研究するテーマに応じて，教育学，教育心理学，幼児教育のいずれかの科目を選択してください。

(カ) 専攻分野として，音楽科教育，器楽，声楽，作曲・指揮法を選択する者は，志望分野により受験科目が以下のように異なります。

・音楽科教育……筆記試験

・器 楽……10分程度の任意の器楽曲(ピアノ)とし，演奏曲目を入学志願票に記入してください。出願後の曲目変更はできません。

・声 楽……10分程度の任意の声楽曲とし，演奏曲目を入学志願票に記入してください。出願後の曲目変更はできません。

※伴奏を必要とする場合は，各自伴奏者を同伴してください。

・作 曲……1 これまでに作曲した作品1曲の楽譜を出願時に提出してください。

2 12小節程度の旋律をソプラノ・リコーダーあるいはアルト・リコーダーとピアノの二重奏に編曲してください。課題実施に当たってのピアノ使用は認めません。

(キ) 専攻分野として，美術科教育，美術を選択する者は，自作の作品，又は写真(本人自作であることの証明書つき)，関連する論文があればそれを資料として持参してください。

また，「教育実践の成果の概要と実践研究の課題」というテーマでA4用紙1枚(1500字程度)の文章を出願書類に添付してください。

(ク) 専攻分野として，技術科教育，技術学を選択する者は，専門科目については電卓の使用を認めます。

5 入学試験問題配点一覧

(1) 一般

教育領域		専門科目		外国語科目	口述試験	合計
学校教育領域	注1)	教育学Ⅰ	教育学Ⅱ	外国語科目	100	400
		100	100			
	注2)	教育心理学Ⅰ	教育心理学Ⅱ	外国語科目		
		100	100	100		
	注3)	幼児教育Ⅰ	幼児教育Ⅱ	外国語科目		
		100	100	100		
特別支援教育領域		特別支援教育		外国語科目		
		200		100		
教育領域		教科教育科目	選択科目	外国語科目		
人文・社会系領域		100	100	100		
理数・生活系領域						
芸術・スポーツ系領域						

(2) 附属学校現職教員

教育領域	外国語科目	口述試験	合計
学校教育領域	100	100	200
特別支援教育領域			100
人文・社会系教育領域	注4)		100
	注5)		100
理数・生活系領域			100
芸術・スポーツ系領域			100

(3) 教職等経験者

教育領域		専門科目		外国語科目	口述試験	合計
学校教育領域	注1)	教育学Ⅰ	教育学Ⅱ	外国語科目	100	400
		100	100			
	注2)	教育心理学Ⅰ	教育心理学Ⅱ	外国語科目		
		100	100	100		
	注3)	幼児教育Ⅰ	幼児教育Ⅱ	外国語科目		
		100	100	100		
特別支援教育領域		特別支援教育		外国語科目	口述試験	合計
		200			100	300
教育領域		教科教育科目	選択科目	外国語科目	口述試験	合計
人文・社会系教育領域	注4)	100	100		100	300
	注5)			100		400
理数・生活系領域		100	100		100	300
芸術・スポーツ系領域		100	100		100	300

注1) 選択科目として、教育学を選択した者のみ

注2) 選択科目として、教育心理学を選択した者のみ

注3) 選択科目として、幼児教育を選択した者のみ

注4) 専攻分野として、国語教育学、国語学、国文学、社会科教育、歴史・思想学、地域科学を選択した者のみ

注5) 専攻分野として、英語科教育、英語学、英米文学を選択した者のみ

《外国人留学生特別入試》

Ⅶ. 出願手続

1. 出願書類等

入学を希望する者は、次の書類等を整え、下記に提出してください。

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577 三重大学教育学部チーム（学務担当）

(1) 私費外国人留学生の場合

書類等の名称	摘 要
① 入 学 志 願 票	本学所定の用紙を使用してください。（うぐいす色）
② 研 究 計 画 書	本学所定の用紙を使用してください。（うぐいす色）
③ 受 験 票 ・ 写 真 票	本学所定の用紙を使用してください。（うぐいす色）
④ 成 績 証 明 書	出身大学又は最終学校のものを出願してください。
⑤ 卒業（見込）証明書又は卒業証書の写	出身大学又は最終学校のものを出願してください。
⑥ 長 期 履 修 出 願 許 可 証	長期履修出願審査合格者は提出してください。
⑦ 出 願 許 可 書	出願資格9, 10, 11に該当する者は提出してください。
⑧ 国籍・在留資格を証明できる書類	パスポートの写を出願してください。
⑨ 所 属 長 の 承 諾 書	在職者のみ、本学所定の用紙を使用してください。
⑩ 日本留学試験成績通知書の写又は日本語能力試験（1級又はN1）成績通知書の写	独立行政法人日本学生支援機構が行う日本留学試験成績通知書の写又は、財団法人日本国際教育支援協会が行う日本語能力試験成績通知書の写を出願してください。 なお、出願時結果を受理していないもの、及び未受験のものについては、平成29（2017）年3月入学手続時までに通知書の写を出願してください。 提出されない場合、及び点数等が不足している場合、学力検査合格者であっても入学は認められません。
⑪ 返 信 用 封 筒	受験票返信用。所定の封筒に郵便番号・住所・氏名を明記し362円分の切手を貼付したものを提出してください。
⑫ 入 学 検 定 料 (30,000円) 振込手数料は別途必要となります	本学所定の振込用紙に必要事項を記入し、切り離さずに最寄りの金融機関（銀行・信用金庫・農協など）の窓口に入学金検定料を添えて提出してください。（ただし、ゆうちょ銀行では取り扱いできません。また、ATMは使用しないでください。）振込みの後に「振込証明書（大学提出用）」を受け取り、金融機関の受領印が押されていることを確認し、その後、本学所定の「入学検定料納付票」の所定欄に貼って、他の出願書類とともに提出してください。 なお、「受取書（本人保存用）」は志願者本人の領収書となりますので、大切に保管してください。
入 学 検 定 料 納 付 票	
⑬ 連 絡 受 信 先 シ ー ル	所定の用紙に合格通知書等の送付先を記入してください。

(2) 国費外国人留学生の場合

書類等の名称	摘 要
① 入 学 志 願 票	本学所定の用紙を使用してください。（うぐいす色）
② 研 究 計 画 書	本学所定の用紙を使用してください。（うぐいす色）
③ 受 験 票 ・ 写 真 票	本学所定の用紙を使用してください。（うぐいす色）
④ 長 期 履 修 出 願 許 可 証	長期履修出願審査合格者は提出してください。
⑤ 連 絡 受 信 先 シ ー ル	所定の用紙に合格通知書等の送付先を記入してください。
⑥ そ の 他	国費外国人留学生受入れの添付書類を提出してください。

2. 出願方法

8頁参照

Ⅷ. 選抜の方法

入学者の選抜は、学力検査・研究計画書・日本語能力及び出身大学の成績証明書等の結果を総合して行います。

1 学力検査日 平成29（2017）年2月16日（木）

2 学力検査会場 三重大学教育学部

3 学力検査時間割

※口述試験については1人ずつ行います。

月 日	専攻・ 教育 領域	教 育 科 学 専 攻					
		学校教育領域	特別支援 教育領域	人文・社会系 教育領域	理数・生活系 教育領域	芸術・スポーツ系教育領域	
時間					注1)	注2)	
平 成 29 年 2 月 16 日 (木)	10:00						
	10:30	専門科目 10:00～12:00	専門科目 10:00～12:00	専門科目 10:00～12:00	専門科目 10:00～12:00	専門科目 10:00～11:00	専門科目 10:00～12:00
	11:00						
	11:30						
	12:00						
	12:30						
	13:00			注3) 外国語科目 13:00～14:20	注4) 外国語科目 13:00～14:20		
	13:30						
	14:00						
	14:30					実技又は理論試験 及び口述試験 13:00～	
	15:00						
	15:30						
16:00	口述試験 15:00～	口述試験 15:00～	口述試験 15:00～	口述試験 15:00～		口述試験 15:00～	
16:30							
17:00							

注1) 専攻分野として、音楽科教育、器楽、声楽、作曲・指揮法、美術科教育、美術を選択した者のみ

注2) 専攻分野として、保健体育科教育、体育・スポーツ学、運動学、学校保健を選択した者のみ

注3) 専攻分野として、英語科教育、英語学、英米文学を選択した者のみ

注4) 専攻分野として、数学科教育、代数学、幾何学、解析学、応用数学、理科教育、物理学、化学、生物学、地学を選択した者のみ

4 学力検査科目

① 教科教育科目

選択する専攻分野によっては、教科教育科目の試験は実施しません。

② 選択科目（1科目選択）

選択科目は日本語解答とします。ただし、特別支援教育領域を希望する者及び専攻分野として、英語科教育、英語学、英米文学を選択する者は日本語又は英語解答とします。

③ 外国語科目（英語）

ただし、専攻分野として、数学科教育、代数学、幾何学、解析学、応用数学、理科教育、物理学、化学、生物学、地学、英語科教育、英語学、英米文学を選択する者のみ。

④ 実技又は理論試験（1科目選択）

ただし、専攻分野として、音楽科教育、器楽、声楽、作曲・指揮法、美術科教育、美術を選択する者のみ。

⑤ 口述試験

【試験科目】

教育領域	専 門 科 目		外国語科目	実技又は理論試験 (1科目選択)	辞書の持ち込み について
	教科教育科目	選択科目（1科目選択）			
学校教育領域		小論文（教育学に関すること）、 小論文（教育心理学に関すること）、 小論文（幼児教育に関すること）			不可
特別支援教育領域		小論文（特別支援教育に関すること）			(注意事項(オ)-a)参照
人文・社会系教育領域		国語科教育Ⅰ、国語学、国文学			不可
		小論文（社会科に関すること）			不可
	英語科教育	英語学、英米文学	英語		不可
理数・生活系教育領域	算数・数学科教育	代数学、幾何学、解析学、応用数学	英語		(注意事項(オ)-b)参照
		理科教育、物理学、化学、生物学、地学	英語		(注意事項(オ)-c)参照
	技術科教育	機械工学、電気工学、情報工学			(注意事項(オ)-d)参照
	家庭科教育	食物学、被服学			不可
芸 術 ・ ス ポ ー ツ 系 教 育 領 域		小論文（音楽教育に関すること）		音楽科教育、 器楽（ピアノ）、 声楽、 作曲	(注意事項(オ)-d)参照
		小論文（美術教育に関すること）		絵画、 彫刻、 デザイン、 美術理論・美術史、 美術科教育Ⅱ	不可
	保健体育科教育	体育・スポーツ学、運動学、学校保健			(注意事項(オ)-d)参照

(注意事項) (ア) 選択科目は、研究計画書に基づき、入学後主として研究しようとする専攻分野の科目を選択してください。

(イ) 教科教育科目については、選択科目に関連した教科教育の試験を行います。

(ウ) 専攻分野として、音楽科教育、器楽、声楽、作曲・指揮法を選択する者は、志望分野により受験科目が以下のように異なります。

・音楽科教育……筆記試験

・器 楽……10分程度の任意の器楽曲（ピアノ）とし、演奏曲目を入学志願票に記入してください。出願後の曲目変更はできません。

・声 楽……10分程度の任意の声楽曲とし、演奏曲目を入学志願票に記入してください。出願後の曲目変更はできません。

※伴奏を必要とする場合は、各自伴奏者を同伴してください。

・作 曲……1 これまでに作曲した作品1曲の楽譜を出願時に提出してください。

2 12小節程度の旋律をソプラノ・リコーダーあるいはアルト・リコーダーとピアノの二重奏に編曲してください。課題実施に当たってのピアノ使用は認めません。

(エ) 専攻分野として、技術科教育、技術学を選択する者は、専門科目については電卓の使用を認めます。

(オ) 学力検査における辞書の持ち込みについて

a 辞書（例えば中日辞典等）の持ち込み可。各種辞典（事典）及び電子辞書は不可。

b 英和辞典及び和英辞典の持ち込み可。学術用語に関する和英・英和辞典も可。事典や電子辞書は不可。

c 母国語と日本語との変換辞典及び英和辞典の持ち込み可。ただし、科学用語辞典（事典）類及び電子辞書は不可。

d 辞書の持ち込み可。ただし、各種の事典及び電子辞書は不可。

5 入学試験問題配点一覧（外国人留学生特別入試）

教育領域	専門科目		外国語科目	実技又は理論試験	口述試験	合計
	教科教育科目	選択科目				
学校教育領域		100			100	200
特別支援教育領域		100			100	200
人文・社会系教育領域	注1)	100			100	200
	注2)	100	100		100	400
理数・生活系教育領域	注3)	100	100		100	400
	注4)		100		100	300
	注5)	100	100		100	300
芸術・スポーツ系教育領域	注6)			100	100	300
	注7)	100	100		100	300

注1) 専攻分野として、国語教育学、国語学、国文学、社会科教育、歴史・思想学、地域科学を選択した者のみ

注2) 専攻分野として、英語科教育、英語学、英米文学を選択した者のみ

注3) 専攻分野として、数学科教育、代数学、幾何学、解析学、応用数学を選択した者のみ

注4) 専攻分野として、理科教育、物理学、化学、生物学、地学を選択した者のみ

注5) 専攻分野として、技術科教育、技術学、家庭科教育、家政学を選択したもののみ

注6) 専攻分野として、音楽科教育、器楽、声楽、作曲・指揮法、美術科教育、美術を選択した者のみ

注7) 専攻分野として、保健体育科教育、体育・スポーツ学、運動学、学校保健を選択した者のみ

《各入試共通事項》

Ⅸ. 合格発表

合格者は、平成29（2017）年2月23日（木）10時頃、教育学部学生玄関及び三重大学ホームページ入試情報の入試速報（<http://www.mie-u.ac.jp/exam/>）にて合格者の受験番号を発表するとともに、受験者に対し合否の通知書を送付します。なお、電話での照会には応じません。

Ⅹ. 入学手続

(1) 入学手続に必要な書類については、平成29（2017）年3月上旬頃に郵送します。

(2) 入学手続期間 別途合格者に通知します。

(3) 入学料・授業料 ※4頁も参照ください。

① 入学料 282,000円（予定額）

② 授業料 前期分 267,900円（予定額）
（年額 535,800円）（予定額）

③ 誓約書及びその他の必要書類

（注意事項）

（ア）入学料及び授業料は、予定額ですので改定されることがあります。

（イ）在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定された新授業料が適用されます。

（ウ）入学料の納入方法については、合格者に対して送付する入学手続要項でお知らせします。

Ⅺ. その他

(1) 受験票は、受付完了後本人あて郵送します。

(2) 出願書類を郵便で請求するときは、返信用封筒（角型2号）に郵便番号、住所、氏名を明記し、250円分の切手を貼ったものを同封の上、「大学院教育学研究科学生募集要項請求」と朱書し、三重大学教育学部チーム（学務担当）宛に請求してください。

※日本国内に限ります。

(3) 過去の入学試験問題は、教育学部チーム（学務担当）にて過去5年間の試験問題を閲覧できます。また、出願者については、希望があれば原則として過去3年分を限度としてコピーをすることも可能です。

(4) 出願者に対する宿泊施設の斡旋は行いません。

(5) 各教育領域において、専攻分野によっては、平成29（2017）年度以降の研究指導の担当教員がいないことがあります。出願の前に、志望する教育領域の代表者（21頁参照）にお問い合わせください。

入学試験情報

○平成28年度教育学研究科入学者選抜状況

専攻	教育領域	定員	志願者					受験者					合格者					入学者				
			第一次	第二次	外国人留学生特別入試(第一次)	外国人留学生特別入試(第二次)	合計	第一次	第二次	外国人留学生特別入試(第一次)	外国人留学生特別入試(第二次)	合計	第一次	第二次	外国人留学生特別入試(第一次)	外国人留学生特別入試(第二次)	合計	第一次	第二次	外国人留学生特別入試(第一次)	外国人留学生特別入試(第二次)	合計
教育科学	学校教育領域	5	1	1	1	2	5	1	1	1	2	5	0	1	1	2	4	0	1	0	2	3
	特別支援教育領域	3	1	2	0	0	3	1	2	0	0	3	1	2	0	0	3	1	2	0	0	3
	人文・社会系教育領域	11	3	0	1	1	5	3	0	1	1	5	3	0	0	1	4	3	0	0	1	4
	理数・生活系教育領域	13	10	3	0	0	13	10	3	0	0	13	9	3	0	0	12	9	2	0	0	11
	芸術・スポーツ系教育領域	9	2	1	0	0	3	2	1	0	0	3	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1
合計		41	17	7	2	3	29	17	7	2	3	29	14	6	1	3	24	14	5	0	3	22

○平成27年度教育学研究科入学者選抜状況

専攻	教育領域	定員	志願者					受験者					合格者					入学者				
			第一次	第二次	外国人留学生特別入試(第一次)	外国人留学生特別入試(第二次)	合計	第一次	第二次	外国人留学生特別入試(第一次)	外国人留学生特別入試(第二次)	合計	第一次	第二次	外国人留学生特別入試(第一次)	外国人留学生特別入試(第二次)	合計	第一次	第二次	外国人留学生特別入試(第一次)	外国人留学生特別入試(第二次)	合計
教育科学	学校教育領域	5	1	3	1	3	8	1	3	1	2	7	1	3	0	2	6	1	3	0	1	5
	特別支援教育領域	3	1	1	0	0	2	1	1	0	0	2	1	1	0	0	2	1	1	0	0	2
	人文・社会系教育領域	11	10	8	2	3	23	10	7	2	3	22	4	6	2	2	14	2	6	1	2	11
	理数・生活系教育領域	13	4	8	0	0	12	4	8	0	0	12	4	7	0	0	11	4	7	0	0	11
	芸術・スポーツ系教育領域	9	7	5	1	1	14	7	5	1	0	13	5	2	0	0	7	4	2	0	0	6
合計		41	23	25	4	7	59	23	24	4	5	56	15	19	2	4	40	12	19	1	3	35

個人情報の利用について

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（以下「個人情報保護法」という。）が平成17（2005）年4月1日から施行されました。

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報の利用については、入学者選抜に係わる業務のほか、次のとおりです。

- (1) 合格者の住所・氏名等を入学手続に係わる業務で利用します。
- (2) 入学手続者の住所・氏名等を入学後の学籍管理等の修学に係わる業務並びに健康診断等の保健管理に係わる業務で利用します。
- (3) 入学手続者の住所・氏名等を入学料並びに授業料徴収等の納付金管理に係わる業務で利用します。
- (4) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を、入学料免除及び授業料免除並びに奨学生選考等の修学支援に係わる業務で利用します。
- (5) 個人が特定できない形で、統計処理等に付随する業務並びに本学における入学者選抜に関する調査研究で利用します。

本学が取得した個人情報は、個人情報保護法第9条に規定されている場合を除き、出願者の同意を得ることなく他の目的で利用または第三者に提供することはありません。

各教育領域についての問い合わせは、以下の教育領域代表者に直接お願いします。

教育領域	教育領域代表者	メールアドレス	電話番号
学校教育領域	伊藤 敏子	itoshiko@edu.mie-u.ac.jp	059-231-9318
特別支援教育領域	郷右近 歩	goukon@edu.mie-u.ac.jp	059-231-9257
人文・社会系 教育領域	注1) 守田 庸一	morita@edu.mie-u.ac.jp	059-231-9213
	注2) 秋元 ひろと	hakimoto@edu.mie-u.ac.jp	059-231-9215
	注3) 荒尾 浩子	arao@edu.mie-u.ac.jp	059-231-9306
理数・生活系 教育領域	注4) 肥田野 久二男	hidano@edu.mie-u.ac.jp	059-231-9237
	注5) 栗原 行人	ykurihara@edu.mie-u.ac.jp	059-231-9265
	注6) 山守 一徳	yamamori@edu.mie-u.ac.jp	059-231-9311
	注7) 平島 円	madoka@edu.mie-u.ac.jp	059-231-9301
芸術・スポーツ系 教育領域	注8) 兼重 直文	n-kane@edu.mie-u.ac.jp	059-231-9271
	注9) 上山 浩	ueyama@edu.mie-u.ac.jp	059-231-9280
	注10) 杉田 正明	sugita@edu.mie-u.ac.jp	059-231-9293

- 注1) 国語教育学, 国語学, 国文学, 書道に関する問い合わせ
 注2) 社会科教育, 歴史・思想学, 地域科学に関する問い合わせ
 注3) 英語科教育, 英語学, 英米文学に関する問い合わせ
 注4) 数学科教育, 代数学, 幾何学, 解析学, 応用数学に関する問い合わせ
 注5) 理科教育, 物理学, 化学, 生物学, 地学に関する問い合わせ
 注6) 技術科教育, 技術学に関する問い合わせ
 注7) 家庭科教育, 家政学に関する問い合わせ
 注8) 音楽科教育, 器楽, 声楽, 作曲・指揮法, 音楽学に関する問い合わせ
 注9) 美術科教育, 美術に関する問い合わせ
 注10) 保健体育科教育, 体育・スポーツ学, 運動学, 学校保健に関する問い合わせ

学生募集に関する相談, 問い合わせ先及び書類の提出先は, 下記となります。

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577
 三重大学教育学部チーム (学務担当)
 TEL 059-231-9319
 FAX 059-231-9352
 E-mail edu-gakumu@ab.mie-u.ac.jp
 URL <http://www.edu.mie-u.ac.jp/>